

★ワークショップ発表内容★

能代松陽高校Aチーム

【秋田を活性化させるためには】

★観光客を増やす★

- ①白神ねぎ、みょうが、宇宙ロケットなど、能代の特産物を使ったイベントの開催
- ②能代から八峰町までバイクが多く通ることから休憩場所をつくる。事故が減り、観光客数もUP など

★教育環境★

- ①高校の教材費を無償化をする
スポーツを活かして大学や専門学校をつくる
奨学金を受けやすくする
- ②子供と高齢者が集まりやすい場所を増やし、交流の場所をつくる など



能代松陽高校Bチーム

【秋田を活性化させるための4つの視点】

★観光★

交通網が少なく、娯楽施設も少ないから他県とのつながりが少なくなっている
⇒直行便をつくり、様々な場所でSuicaを使えるようにする。歴史・文化の街を目指すためグッズの作成、白神ねぎの活用を考える

★教育★

子育て支援の不足が感じられる
⇒子育て支援をもっと増やす、具体的には相談会を設けたり、教員や保育士の教育に力を入れる、質の高い教育を充実させる

★仕事(就職)★

働く場所が少ない、最低賃金が安すぎる
⇒地域と企業の連携を増やす、能代科学技術高校があることをいかし、工業系の会社等、企業とのマッチングの機会をもっと増やす

★動物★

動物による被害が多発している
⇒動物被害の共有、情報の共有をスマホのアプリなどで行う、動物と人との生活圏を分ける政策を考える



能代科学技術高校

【秋田の少子化問題を解決!!】

- ①学習・娯楽施設が少ないので人が集まらない⇒県民が考える魅力的な建物を県に作ってもらう、そのために県庁や県の企業に県民を対象としたアンケートを取って実施してもらう
- ②流行のお店が無い
⇒①のアンケート結果の中から店舗や施設の運営をやってみたい人を募集して、空き店舗の活用・町の活性化を図る
- ③子どもの数が少ないので出生率を上げるための政策を考える
⇒教育費の無償化。
教育委員会に問題提起をし、3人以上の家庭に対し教育費を免除してもらうようにする



能代高校

【日本一の市役所をつくらう!!】

他にはない特色のあるまちづくり

【課題】

- ・現状、高齢者の声が強くなっていて、子どもの自由が制限されている、若者が魅力を感じない
- ・遊べる場所が少ない
- ・魅力はあるけれど情報発信できていない気がする

【解決策】

- ・各世代の意見を受けてニーズに合わせたまちづくりをする
- ・「一番の〇〇」をつくって注目してもらう
- ・マスコミに取り上げてもらい、全国から訪れてもらう
- ・みんなが行きたいと感じる大規模で快適な場所をつくる
例:全国では見ない市役所をつくる
- ⇒日本一の市役所をつくる

旅行者が「一度は来てみたい、能代に来たらまずはここに行こう」と思ってもらえるような広告塔を目指す!



発表で作成したグラフィックレコーディングは能代市市民ギャラリーにて展示しています(*^_^*)ぜひご覧ください♪

★期間★
12/25(月)~1/12(金)